



檜原村 エコツアーリズム推進 全体構想 (概要版)

平成30年4月
檜原村

エコツーリズムとは？

エコツーリズムとは、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光旅行者にお伝えして、その価値や大切さを理解していただき、環境保全につなげていくことを目指す仕組みです。そしてエコツーリズムの考え方に基づいて自然や文化を守りながら地域の魅力を体験するプログラムを「**エコツアー**」といいます。

地域住民自らが地域の資源の魅力「**地域の宝**」を発掘してその価値を認識し、観光旅行者に伝えることで新たな観光資源が生まれ、持続的な地域づくりにつながります。

「私が変わる」

自然の美しさ・奥深さに気づき自然を愛する心が芽生え環境問題や環境保全への意識が高まり行動が変わります

「地域が変わる」

地域固有の魅力を見直すことで、**地域の人々が自信と誇り**を持ち、生き生きとした地域に変わります

「そしてみんなが変わる」

自然や文化を守り、未来への遺産として引き継いでいく**活力ある持続的な地域**に変わります

エコツーリズムで 何が変わるの？

*エコツーリズム推進法について

地域でエコツーリズムに取り組む総合的な枠組みを定めた法律で、平成19年6月に成立しました。エコツーリズムを通じて、わが国の自然環境を保全し、後世に伝えていくことを目的としています。法律では「**自然環境の保全**」「**観光振興**」「**地域振興**」「**環境教育の場としての活用**」の4つを、地域の創意工夫を活かしたエコツーリズムを実現させるための基本理念としています。また国では法律に基づいてそれぞれの地域で作るエコツーリズムを実行するための基本的な計画「エコツーリズム推進全体構想」を認定し、地域の取組を応援しています。

檜原村は「**檜原村エコツーリズム推進全体構想**」が平成30年4月に認定を受け、推進法認定団体になりました。国（環境省、国土交通省、文部科学省、農林水産省）は全体構想の認定を受けた市町村に対して、広報に努めるなど、地域のエコツーリズム実現に関する施策を推進します。

檜原村 エコツーリズム の目標

1. 地域と人材を育てるエコツーリズムによる観光村づくり
2. 資源を活かすエコツーリズムによる観光村づくり
3. 安全と安心に配慮した観光村づくり

これら目標実現のため、檜原村では村民の皆さまからのご意見を
エコツーリズム推進の目的や事業に反映させながら
次の3つの基本方針を定めます。

1. 村の生物多様性豊かな自然を守り育てる

今ある美しい自然を保全し、多様な生物と共に暮らせるように守りつつ
自然との関わりから生まれている地域文化を継承する

2. 村の文化歴史を伝え活かす

貴重な伝統文化を次世代に伝え活かし未来の子孫に誇る

3. 村の観光産業を興す

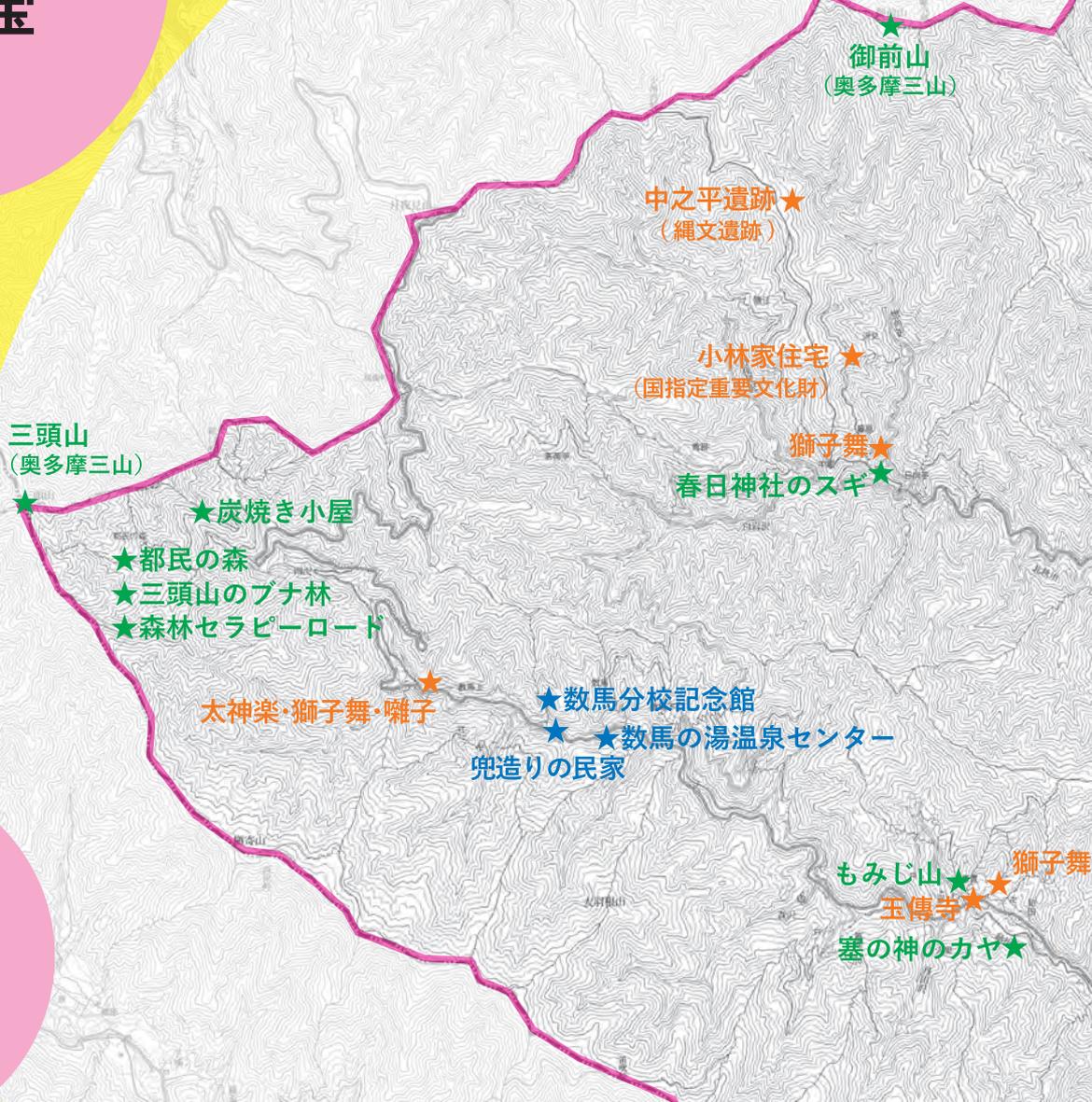
エコツーリズムに基づく観光推進のしくみを作ることで村の産業を興し
村の持続的な発展に繋げ、雇用の場の創出と安心して生活できる
持続的な居住環境の実現を目指す

三つの 地域の宝



檜原村の 地域の宝

★自然の宝 / ★歴史の宝 / ★生活の宝



たとえば
こんな
エコツアー

【自然の宝を体験する】

- ① 天然記念物、貴重な植生等、新緑、紅葉、巨樹・名木、野草・花などを知り楽しみガイドから解説を受けながら自然を体験するエコツアー
- ② ほ乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫などを観察し生態を知るエコツアー
- ③ 四季折々の滝を巡り自然を体験するエコツアー
- ④ 四季折々の山岳を巡るトレッキングや自然や歴史を楽しむ体験エコツアー
- ⑤ ハイキング、ドライブ、トレッキング、サイクリング、MTB、ジップライン、オートキャンプなどを体験するエコツアー
- ⑥ 川・沢を使った自然と遊ぶアクティビティエコツアー
- ⑦ 森林や温泉で癒されるエコツアー



他にもこんな宝があります

美しい河川(南北秋川)
淡水魚類
関東ふれあいの道
山岳景観
甲州中道
石仏／石碑
村名の由来
平家の落武者伝説
お祭り
様々な特産品



【生活の宝を体験する】

- ① 古民家等を巡るエコツアー
- ② 村で営まれている生業などを体験するエコツアー
- ③ 食文化を体験するエコツアー
- ④ 伝説・民話を巡るエコツアー

【歴史の宝を体験する】

- ① 古道・峠の道・隧道を散策しながら歴史を体験するエコツアー
- ② 史跡・遺跡などを巡りながら歴史を知るエコツアー
- ③ 神社仏閣を巡り歴史を知るエコツアー
- ④ 祭りや村の伝統芸能を体験するエコツアー



檜原村

エコツーリズム のルール

檜原村は村民の方々の生活環境を守り
参加者の安全を確保しながら
よりよいエコツアーを実施していくために
エコツーリズムのルールを定めます。

野生動植物と その生息地・ 生育地 について

ツアー参加者へ

- ・動植物の採取や採集、また、移動や持込はやめましょう。
- ・山には所有者がいますので、無断で山菜などを採ることはやめましょう。
- ・植生を傷めるので道から外れないようにしましょう。
- ・野生動物への餌やりはやめましょう。
- ・樹木や地層、岩などに傷をつけたり、落書きをしたり、持ち去ったりしないようにしましょう。

ツアー実施者へ

- ・原則として在来の野生動植物の捕獲・採取を行わないようにし、昆虫や川の生き物などを観察のために捕獲した場合は、観察後に元の場所に戻しましょう。また、里地・里山の生活文化体験では野草や山菜、魚などを採取する場合がありますが、その場合も採取する量は必要最小限にとどめ、自然観光資源を根絶やしにしないようにしましょう。
- ・希少性の高い動植物の生息地・生育地が特定されることがないように配慮しましょう。
- ・生態系を守るため、外来種の移入は好ましいものでないことを参加者に伝えましょう。

環境全般 について

ツアー参加者へ

- ・沿道や駐車場などではごみを捨てず、持ち帰りましょう。
- ・たばこの吸い殻は持ち帰りましょう。
- ・たき火はキャンプ場など決められたところでしましょう。
- ・ペットを連れ歩くときは、リードをつけましょう。
- ・ペットの糞や毛は持ち帰りましょう。

ツアー実施者へ

- ・地元で生産された野菜や産品などを利用するなど、地産地消に努めましょう。
- ・自然環境の異変などに気付いた場合は、協議会に報告しましょう。
- ・住宅地や農地などでツアーを行う際は、生活環境や営農環境などを守るため事前に所有者や居住者の承諾を得るようにしましょう。
- ・住宅地周辺などでツアーを行う場合は、実施日時や目的などを事前に周辺の村民に知らせるようにしましょう。
- ・常に村民生活が優先されることを理解し、それを脅かすことがないように注意しましょう。
- ・参加者になるべく公共交通機関を利用するように勧めましょう。



景観・史跡・建造物・ 伝統文化（伝統芸能等）

について

ツアー参加者へ

- ・ 神事や郷土芸能を見学、撮影する際は、他の参加者への配慮を忘れないようにしましょう。体験参加などの際には、保存会の方などの許可を得ることが必要です。
- ・ 古民家などを撮影する際は、居住者や所有者の許可を得ることが必要です。

ツアー実施者へ

- ・ 建造物などへの損傷である落書きなどをしないよう、施設は大切に利用することを参加者に伝えましょう。

参加者の 安全対策について

ツアー参加者へ

- ・ サイクリストは、登山道を利用する場合、歩行者優先であることを踏まえ、そのマナーを遵守するよう努めましょう。
- ・ トレイルランニング走者に、登山道は歩くところ、歩行者優先であることを啓発しましょう。

ツアー実施者へ

- ・ 傷害保険に加入し、参加者に補償内容を事前に説明しましょう。
- ・ 緊急時の対応や参加者の連絡先を事前に把握しておきましょう。
- ・ 必ず事前に現地を確認して危険性などを把握し、参加者に説明や注意を喚起し、必要な資材を準備しましょう。
- ・ 救急救命用品などについて、準備、携行しましょう。

ツアーの質 について

ツアー実施者へ

- ・ 檜原村エコツーリズム推進全体構想の基本的な方針に整合させたプログラムを実施しましょう。
- ・ ツアーの内容に応じた適正な参加人数を設定しましょう。
- ・ 参加者へのアンケートなどを実施し、より質の高いツアーになるよう努めましょう。
- ・ 常にもてなしと気配りを持ち、参加者に感謝の思いが伝わるよう心がけましょう。



住民参加の 推進

檜原村のエコツーリズムに村民の参加を促し、次の方法で推進します。

① 檜原村エコツーリズム活動村民の会（仮）

村内で自主的にエコツーリズムに関する活動をする個人や団体が参加し、エコツアーの企画や情報交換を行う「檜原村エコツーリズム活動村民の会（仮）」を設置します。

② エコツアー実施の際の協力依頼

できるだけ多くの村民の皆様、可能な範囲でエコツアーに関わっていただけるようエコツアー実施の際には事務局やツアー実施者が**住民に協力を依頼**します。

ガイドの育成

良質で魅力的なエコツアーを継続的に実施していくためには、ツアーのガイドをはじめ、ツアー実施に向け調整を促すコーディネーターや、地域の人材を取りまとめるマネージャー、新しいプログラムをつくり管理・統括するプロデューサーなど多様な人材が必要になります。協議会ではエコツーリズム関係団体等と連携・協力し、ガイドやコーディネーターなどの人材育成及び研鑽を行っていきます。

① エコツアーガイド養成講座の実施

エコツーリズムに関わる人材を養成し、住民の参画を図るため、「檜原村エコツーリズムオープンカレッジ」を行います。ガイドを目指す人への研修の他、受講後にガイドの経験が出来るよう、フィールドワークを取り入れた実践的なプログラムを実施します。

② エコツーリズム講習会・交流会

ツアー実施者を対象に、ガイドやコーディネーターの技術、安全管理技術の習得、課題の共有などを目的とした**エコツーリズム講習会や交流会**を実施します。

檜原村エコツーリズムに
関するお問合せはこちらまで

檜原村エコツーリズム推進協議会事務局
〒190-0212 東京都西多摩郡檜原村467番地1
檜原村産業環境課観光商工係

☎ 042-598-1011